

採点基準 英語

【1】-A (10点満点)

<設問指示>

以下の英文を読み、その内容を70～80字の日本語で要約せよ。句読点も字数に含める。

<解答例1>

人間は無意味な情報の中に意味のある信号を求め、情報過多のため正しい信号の見極めができなくなると世界を単純化して解釈し始め、進むべき方向が見えなくなる。(77字)

<解答例2>

人間は本能的に存在しないパターンを認識してしまうため、②情報過多の中で役立つ情報を選別しないと、③偏った見方で世界を単純化し、正しい未来予測ができなくなる。(78字)

①「問題は、進化を通じて得たこれらの本能のせいで、私たちは時に、何も無いところに**パターンを見出してしまう**ということだ」

・ The problem is that these evolutionary instincts sometimes lead us to **see patterns** when there are none there.

「人々はそうしたことを、つまり意味のないノイズの中に**シグナルを見出す**ことを絶えず行ってきた」

・ People have been doing that all the time — **finding signals** in random noise.

▶ 「(存在しない) **パターンを見る**」(see patterns)に相当するものがないものは**2点減点**。

②「**情報量は**日ごとに 250 京バイト **増加している**のに対して、**役立つ情報の量が増加していない**のはほぼ確実である。」

・ While **the quantity of information is increasing** by 2.5 quintillion bytes per day, the amount of useful information almost certainly isn't.

「情報の大半は単なる**ノイズ**であり、ノイズはシグナルよりも速く増加している」

・ Most of it is just **noise**, and the noise is increasing faster than the signal.

▶ 「**情報量は増加している**」(the quantity of information is increasing)に相当するものがないものは**2点減点**。

▶ 「大半が**ノイズ**である」(Most of it is just noise)に相当するものがないものは**2点減点**。

③「我々は先入観を裏付けるように**世界を単純化する**」

・ ... our defense mechanism would be to **simplify the world** in ways that confirmed our biases ...

▶ 「**世界を単純化する**」(simplify the world)に相当するものがないものは**2点減点**。

④「**未来を予測する**のに役立つのは、より多くのノイズではなく、正しいシグナルなのだ」

・ It's not more noise but the right signal that helps us **predict the future**.

▶ 「**未来を予測する**」(predict the future)に相当するものがないものは**2点減点**。

1. 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
2. 字数制限を満たさないものは0点。

【2】 -A (12点満点)

【設問】

「好きこそものの上手なれ、と昔から言うように、人は好きなことを職業にするのがよい」という意見について、思うところを 60 ~ 80 語の英語で述べよ。

【解答例 1】 When it comes to career choice, the most important thing to consider is not whether it will bring you a lot of money but whether you like to do the work. You have a better chance to excel in the field you like and choose because you will work harder in it. You may not be able to predict economic and industrial changes to come, but you can always count on your skills that will improve with experience.(78 語)

(職業選択の際に考慮すべき最も重要なことは、大金を得られるかどうかではなく、その仕事が好きかどうかだ。自分が好きで選ぶ分野のほうがより努力することになるので、より活躍できる可能性が高い。今後の経済や産業の変化を予測することはできないかも知れないが、経験とともに向上する自分のスキルはいつでも頼りになる)

【解答例 2】 It is undoubtedly ideal for your job to be something you like. In order to excel in any kind of profession, one needs to devote an enormous amount of time and effort to one's work. Needless to say, doing this will be a lot easier if you like the work you do. Just remember how much faster time seems to pass when you're working with curiosity or enthusiasm than when you're doing something only out of necessity.(77 語)

(好きなことが自分の仕事であればそれは間違いなく理想的なことだ。どのような職業であれ成功するためには、多大な時間と労力を仕事に注ぐ必要がある。言うまでもなく、自分のしている仕事が好きであれば、そうすることははるかに容易になる。単に必要に迫られて何かをしているときよりも、好奇心や熱意をもって仕事をしているときのほうがずっと早く時間が過ぎていくように感じられることを忘れないでほしい)

【解答例 3】 Making something you love your job is a privilege reserved only for a talented or lucky few. Of course, it is optimal if you can do what you love as your job. Quite obviously, however, you can't develop enough skills to become a professional athlete, musician, or artist just by liking those things. You need exceptional talent, and sometimes luck, if you want to pursue a career in such a highly competitive profession(73 語)

(大好きなことを自分の仕事にできるのは、才能に恵まれた人たちや、ごく少数の幸運な人たちだけに許された特権だ。もちろん、自分の仕事として好きなことをやれるのであれば、それは申し分のないことだ。しかし、ただ好きなだけでは、プロのスポーツ選手や、音楽家、芸術家になれるほどの技能を身につけることができないのは極めて明白である。そのような競争の激しい職業に就きたい場合には、並外れた才能と、時には運が必要となるのだ)

【解答例 4】 After finishing school, many people have to do what they don't like. However, they often learn to like what they do. They may be assigned tasks they are unfamiliar with, but over time, they get better at them, and the better they get at them, the more they like them. And this is part of growing up. Little leaguers don't forever dream of becoming a Shohei Otani. They sooner or later grow out of it.(75 語)

(学校を卒業すると、多くの人々は好きでもないことをしなければならない。しかし、多くの場合、その仕事が好きになっていく。不慣れな仕事を任されるかもしれないが、時間が経つにつれ、その仕事ができるようになり、できるようになるにつれて、その仕事がますます好きになっていく。これは成長の一部なのだ。リトルリーガーたちは大谷翔平になりたいという夢をいつまでも抱き続けるわけではない。いずれその夢から目覚めるのだ)

1. 文法・語法・構文・綴りの誤りは1箇所につき2点減点。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限 (60~80 語) を満たさないものは0点。
3. 内容面で下記に該当するものは、それぞれ該当の点数を減点。

ポイント1 「人は好きなことを職業にするのがよい」

- * 「人は好きなことを職業にするのがよい」の誤解は**6点減点**。
- * 「人は好きなことを職業にするのがよい」に無関係なものは**6点減点**。
- * 「職業」に相当するもの (job, work, profession, career など) がないものは**3点減点**。

ポイント2 「思うところ」

- * 「人は好きなことを職業にするのがよい」を説明するだけで自分の思うところ (=意見) を述べていないものは**6**

点減点。

- * 「好きなことを職業にした方が良いと思うが、それはできないことが多い。なぜなら～(好きなことを職業にできない理由)」という論旨展開は許容とする。
- * 論旨が一貫していないと採点者が判断できるものは**4点減点**。(論旨不適合と付記)

ポイント3 理由・根拠・説明

- * ポイント2「自分の思うところ(=意見)」のみを述べ、それに続く理由、根拠、ないしは説明が述べられていないものは**3点減点**。
- * 論旨が一貫していないと採点者が判断できるものは**3点減点**。(論旨不適合と付記)

【2】－B (10点満点)

<設問指示>

以下の下線部を英訳せよ。

<解答例1>

①When, in the course of your research, you don't understand something or realize that you need something, ②you turn to books for a solution, thinking that the information you need is written somewhere in them. ③If you can't find it easily, ④you search one book after another. ⑤sometimes wasting a whole day.

(研究の最中に、わからないことがあったり必要なものがあると気付いたりすると、必要な情報はどこか書物の中にあると考え、解決策を求めて書籍に頼る。なかなか見つからないと、次から次へと本を調べて、時には丸一日を無駄にしてしまうことがある)

<解答例2>

①When you're doing some research and can't comprehend something or need something, ②you look for explanations or what you need in books, on the assumption that you'll be able to find the solution to your problem in them. ③If you can't find it easily, ④you may sometimes go from one book to another, ⑤wasting an entire day.

(何か研究をしていて、理解できないことや必要なものがあったりすると、書物を調べればそこに自分の問題を解決する方法があるはずだと思い、本で説明や必要なものを探す。簡単に見つからなければ、次から次に本を開き、丸一日を無駄に過ごすこともある)

【英訳箇所】

かつてのトーマス・エジソンの研究所には貼り紙があって、「人間には悪い性格がある。考えないで済む方法がないかと一生懸命に考える」と書いてあった。研究の途中で、わからないことがあったり必要なことがあると、解決方法がどこかの書物に書いてあるのではないかと探す。なかなか見つからないと次から次へと本を探し、一日時間をつぶしてしまうことがある。この貼り紙は、そのような研究態度を戒める言葉だった。

書いてある本を探すのではなくて、まずは自分で考えるのだ。自分で考えれば何か方法を思いつくかもしれない。その方法はどの本にも書かれていない新しい方法かもしれない。そのほうが、クリエイティブな作業としてはおもしろいのだ。

1. 文法・語法・構文・綴りの誤り、不適切な訳語…すべて1箇所につき2点減点。同じ誤りでもすべて減点。
2. 以下の①～⑤の区分に指定の得点を配分。

配点	区分
① 3点	「研究の途中で、わからないことがあったり必要なことがあると」
② 3点	「解決方法がどこかの書物に書いてあるのではないかと探す」
③ 1点	「なかなか見つからないと」
④ 1点	「次から次へと本を探し」
⑤ 2点	「一日時間をつぶしてしまうことがある」

【4】－B (ア) (4点満点)

<設問指示>

以下の英文を読み、下線部 (ア) を和訳せよ。

<解答例1>

話者が内心強く感じていることを、感情を抑えた言葉づかいで述べる表現法

<解答例2>

話し手が強烈に経験する感情を、その感情を和らげる言葉で述べる表現

【(ア) 和訳箇所】

an expression that describes a feeling the speaker experiences strongly in terms that moderate the emotion

次の区分に分けて配点する。

配点	該当箇所と盛り込むべき内容
① 1点	an expression that describes ~ 「～を述べる表現」
	<ul style="list-style-type: none"> × 関係詞節で修飾される名詞だとわかっていないものは不可。 × that が主格の関係代名詞だとわかっていないものは不可。 × a feeling が describes の目的語だとわかっていないものはこの区分で減点。 × describes を write の意で捉え「記述する」と訳したものは不可。
② 2点	a feeling [that] the speaker experiences strongly 「話者が強烈に経験する感情」
	<ul style="list-style-type: none"> × a feeling と the speaker の間に目的格関係代名詞の省略があることがわかっていないものは不可。 × strongly の欠如は不可。
③ 1点	in terms that moderate the emotion 「その感情を和らげる言葉で」
	<ul style="list-style-type: none"> × terms に「条件／点／関係」は不可。 × moderate を「穏やかな (言葉で)」などと形容詞で訳出した場合は不可。 × emotion に「感動」は不可。

【4】－B (イ) (4点満点)

<設問指示>

以下の英文を読み、下線部 (イ) を和訳せよ。

<解答例1>

イギリス人はこの芸の名人だからその結果、彼ら同士のやり取りが他の国の人間にはさっぱりピンとこない、ということもよくある。

<解答例2>

イギリス人はこの技術に長けているので、その結果、彼らの間の会話が他の人々をひどく当惑させることも多い。

【(イ) 和訳箇所】

The British are masters of the art, with the result that communications between them often leave the rest of us quite bewildered.

次の区分に分けて配点する。

配点	該当箇所と盛り込むべき内容
① 1点	The British are masters of the art 「イギリス人はその芸の名人である」
	×The British の「ブリティッシュ/ブリトン人」は不可。 ×the art の the の欠如により、「イギリス人は (一般的に) 芸術に長けている」といった意味で訳出したものは不可。 ×art に「アート」は不可。
② 1点	with the result that ... 「...という結果をともなって」
	×that が同格の名詞節を導く接続詞だとわかっていないものは不可。
③ 2点	communications between them often leave the rest of us quite bewildered 「彼らの間のコミュニケーションがしばしば残りの我々をひどく当惑させる」
	×communications(S) leave(V)の SV 関係がわかっていないものは不可。 ×between them が communications にかかる形容詞句だとわかっていないものは不可。 ×leave O C (O を C にしておく) の構文がわかっていないものは不可。 ×the rest の欠如は不可。

【4】－B（ウ）（4点満点）

<設問指示>

以下の英文を読み、下線部（ウ）を和訳せよ。

<解答例1>

飛行機はうまく滑空し、火山灰の雲を抜けたところでエンジンを再起動して、無事に着陸にこぎつけることができた

<解答例2>

飛行機は十分に遠くまで滑空し、火山灰の雲を抜け出した後、エンジンが再始動したため、無事に着陸することができた。

【(ウ) 和訳箇所】

the plane was able to glide far enough to exit the ash cloud before the engines were restarted, allowing the aircraft to land safely

次の区分に分けて配点する。

配点	該当箇所と盛り込むべき内容
① 2点	the plane was able to glide far enough to exit the ash cloud 「飛行機は火山灰の雲からのがれるのに十分遠くまで滑空することができた」
	×glideに「グライドする」は不可。 ×enough to ～ がfarにかかる副詞句だとわかっていないものは不可。
② 1点	before the engines were restarted 「エンジンが再起動する前に」
	○～before...を「～の後[～して]…」と訳出しても可。 ○were restartedの訳は過去時制でなくても可。
③ 1点	allowing the aircraft to land safely 「飛行機が安全に着陸するのを可能にした」
	×分詞構文だとわかっていないものは不可。 ×allowをenableではなくpermit「許す/許可する」で訳出したものは不可。 ×safelyの訳抜けは不可。

【5】-(A) (4点満点)

<問題>

下線部 (A) の理由を, 40 字程度の日本語で説明せよ。

<解答例1>

車のバックミラーで救急車とすぐにわかる工夫が, 理にかなっていると感心したから。(39 字)

<解答例2>

前を走る車が救急車を認識するため文字が左右反転しているという理由に当時は納得したから。(43 字)

【下線部(A)】

I loved the explanation.

【基準・配点】

- 1) 29 字以下または 51 字以上は 0 点。
- 2) 次の (1) (2) (3) が必須項目。

- (1) 「(ambulance が) 逆に書かれている」(the word “ambulance” is written in reverse)に相当するもの (これがないものは **2点減点**)
- (2) 「(バックミラーで車が) 救急車だとわかる (から)」(see an ambulance in their rearview mirror ... identify it) に相当するもの (これがないものは **2点減点**)
- (3) 「下線部中の動詞 loved に相当するもの」 (これがないものは **1点減点**)

【5】-(C) (4点満点)

<問題>

下線部 (C) を和訳せよ。

<解答例1>

だが真実は、明らかであると同時にあからさまなものだ。みんな、どうでもいいのである。

<解答例2>

しかし、真実はありのままでありかつ明白かつ単純である。つまり、我々は気にかけていないのだ。

【下線部(C)】

But the truth is as crude as it is obvious: we don't care.

次の区分に分けて配点する。

配点	該当箇所と盛り込むべき内容
① 2点	But the truth is as crude as it is obvious だが真実は、明らかであると同時にあからさまなものだ
	<p>×But の訳抜けは不可。 1点減点。</p> <p>×as ~ as の構文がわかっていないものは不可。 2点減点。</p> <p>×crude に「大ざっぱな／雑な／残酷な／野蛮な／粗暴な」は不可。 1点減点。</p> <p>×it を the truth 以外と取っているものは不可。 1点減点。</p>
② 2点	: we don't care. つまり、我々は気にかけていないのだ
	○コロソ (:) の訳は不問。(なくてもよい)